

別記「評価表」

評価項目		評価の観点	ウェイト	評価点 0～5 標準は3	項目 評価点	満点 (ウェイト× 評価点5点)
1 業務全般	1-1 業務概要	仕様書第1章4「業務目的」や同章7「指令システムとの接続」を踏まえ、受注者が目指す消防業務の運用継続に配慮した「消防救急デジタル無線設備更新」のあり方について明確に記載されており、本業務の適切な履行が見込めるか。	1			5
	1-2 業務工程等	更新対象の既設機器が老朽していることを鑑みた履行計画、及び、適正な業務履行を行うための体制等について明確に記載されており、本業務の適切な履行が見込めるか。	2			10
2 消防機関の大規模災害対応BCP	2-1 機器展開性	堺市総合防災センターのガイダンスシアターで遠隔制御器を使用するための通信線や電源線は取り回しや職員動線、機器そのものの小型軽量化に配慮され、必要時に速やかな機器設定が可能な提案か。	3			15
	2-2 機器収納性	前項2-1の仕様について、堺市総合防災センターの平時の業務運営に影響しない機器収納性が確保された提案か。	1			5
	2-3 BCP対応機能	大規模災害発生等に起因した堺市消防局庁舎から堺市総合防災センターへの警防本部機能の移転後に、堺市消防局庁舎の無線回線制御装置等の作動可否によって切り分けた縮退運用を想定し、平時運用により近く円滑な堺市総合防災センターと各消防署等間の無線設備による情報伝達が可能な提案か。	3			15
	2-4 BCP新技術等	無線設備に関する堺市消防局の運用や取組に理解があり、それに対して高い効果を期待できる新技術（ハード面）や、想定訓練支援や災害発生時保守能力（ソフト面）が認められる提案か。	1			5
3 導入機器	3-1 無線基地局	仕様書第6章1（3）を踏まえ、無線基地局関連の新旧機器の並行運用期間や切替等によって生じる停止期間等の運用影響及び対策について、具体的に記載されているか。	4			20
	3-2 指令センター機器	無線統制台や遠隔制御装置、管理監視制御装置等について、指令センター内の既設指令システムとの設置場所観点での省スペース化、無線設備の運用視点での機器信頼性や保守容易性が認められるか。また、消防指令センター間音声通信の対応方法等について、具体的に記載されているか。	3			15
	3-3 各移動局	車載型、携帯型、可搬型又は卓上型の各移動局無線装置について、従来機器の導入当初と比較して、受信能力や操作性、整備性の改善点や性能向上点が認められるか。	1			5
	3-4 携帯型移動局	携帯型移動局無線装置の小型軽量化、防水防塵能力及び耐久性等による使用隊員の負担軽減が認められるか。	1			5
4 運用保守費	4-1 経常経費	運用保守に係る評価点は、別紙「消防救急無線保守管理業務仕様書（案）」を基に入札参加者から提出された運用保守（次項4-2の内容は含まない。）の見積額（5年間総額）に基づき、次により算出する。 評価点＝15×（最低見積価格／見積価格）				15
	4-2 長期経済負担	前項4-1の保守業務とは別に10年間の運用中に計画立てて必要な一部機器の更新内容（機器・数量・費用・間隔）が具体的に記載され、経済的かつ現実的な提案か。	1			5
			技術評価点			120